

令和3年4月分診療分から ひとり親家庭等医療費等の 助成方法が変わります

市では、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るため、保険診療分の医療費等の一部を助成しています。令和3年4月診療分から、健康保険証とひとり親家庭等医療費等助成受給券を医療機関の窓口で提示し、一定の自己負担額を支払うことにより、その場で精算される現物給付方式を導入します。

◆対象者
ひとり親家庭等の児童、その児童を監護している父または母、父母に代わってその児童を養育している人
※所得制限があります。

◆助成期間
児童が18歳になる年の年度末まで
※児童の心身に基準以上の障害がある場合は、児童が20歳になるまで

「ひとり親家庭等医療費等助成資格申請書」の提出をした方で、引き続き助成の対象となる方へは、3月末までに受給券を郵送します。

◆自己負担額
・通院 1回につき300円
・調剤 無料
・入院 1日につき300円
※住民税所得割非課税世帯の方は通院・入院とも無料

なお、これまでどおり償還払いの手続きをしてください。



問合せ
子育て支援課 (2階)
TEL 201573 FAX 201610

市長が行く



コロナワクチン接種体制確保 についての現在の状況

茂原市長 田中豊彦



茂原市を含む長生郡市では、長生病院を中心に10の医療機関の協力を得て医療従事者向けのコロナワクチン接種に取り掛かろうとしています。今回使用するワクチンはファイザー社製のものとなります。すでに長生病院には、ワクチンを一時的に保管するフリーザーが届き、マイナス75度でワクチンを収める体制は整えられました。

ただ、そこから9の医療機関に届ける体制についてはいまだ決まっておらず、喫緊の課題の一つです。また、凍ったワクチンを溶かすのに約3時間かかり、さらに希釈することになっているため、取り扱いは手間も時間もかかることが想定されています。

要なため、一人の接種にかかる時間を相当見なければならぬことも想定されます。実際に始めてみなければ分からないこともあるのですが、想定できる範囲でできる限りの準備はしておく必要はあります。1瓶に5人分の量が入っているため、その倍数の人を対象として集め対応を図っていくことも考えております。

先行して医療従事者から接種を始め、その後高齢者を対象に順次一般市民に拡大していく予定です。その間に何か問題が発生すればその都度方向転換を余儀なくされることもあるかと思っております。

今後、管内の他の医療機関にもご協力いただき接種を進めていく予定です。それぞれの医療機関が通常の診療を行っているながら取り扱いの難しいワクチンの接種を行っていくのは大きな負担となると思います。私個人の見解ですが、今後の展開次第では、学校の体育館や集会所等も活用する

ことも必要となってくるかもしれません。医療機関の方々にもさらなるご負担をお掛けすることとなります。市民の皆さまにも寛大な気持ちを持って、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

最後に、このコロナワクチンの接種は任意です。で、接種するか否かは個人の判断に委ねられることとなります。安全性に関しては100パーセント安全であるとは誰も言うことができていない段階で、さまざま情報飛び交い不安になる方もいらっしゃると思います。現時点の判断は大変難しいことと思っております。ご自分の体調をよく考慮され、受けていただくことを希望します。

なお、今後のワクチン接種スケジュールにつきましては、市から随時発信してまいります。

(2月12日執筆)